

くれた嘉納治五郎に連れられて、四郎は、初めて講道館をたずねました。井上道場から講道館までは、遠い道のりではありませんでした。しかし、夏の午後の日ざかりは暑く、きんちよう感にかたくなっていた四郎には、長い道のりと感じられました。



永昌寺にある「講道館柔道発祥之地」碑

いていました。

イクグン大将の夢の消えた志田四郎の新しい道は、この講道館の柔道でした。嘉納治五郎に、その才能をみとめられて、四郎は、七番めの講道館入門者になりました。

夏の暑い日ざしの中を、自分をみとめて



現在の上野・永昌寺